

関節鏡視下半月板切除術クリニカルパス(患者様用)

		手術前日(入院日) 月 日()	手術当日 月 日()	手術1病日(退院) 月 日()
安静度		制限はありません。	手術後は翌朝までベッド上安静となります。足の腫れ予防の為に、部分的には足関節運動をします。	痛みに合わせて歩行できます。運動・仕事については医師に確認して下さい。
食事	午前手術	手術前日21時以降 飲水・飲食出来ません。 ※アメ・ガム・タバコも止めて下さい	※アメ・ガム・タバコも止めて下さい 手術後看護師が腸の動きを確認するまで、飲水・飲食は出来ません。	普通食
	午後手術	制限はありません。	※アメ・ガム・タバコも止めて下さい 当日朝食以降の飲水・飲食は出来ません。 手術後看護師が腸の動きを確認するまで、飲水・飲食は出来ません。	
清潔		入浴		ビニールで患部を保護して自宅でシャワー浴ができます。
排泄		トイレ	手術後はベッド上での排泄になります。ただし、手術後3時間経過して麻酔の覚醒が良く、痛みが落ち着いていれば看護師の介助で車椅子でトイレに行く事ができます。	トイレ
診察			御家族の方は、手術中内容の変更や不測の事態に備え、手術が行なわれている間、当棟内での待機をお願いいたします。手術後医師より家族の方への説明があります。	朝病室にもしくはリハビリ室にて医師の診察と病状説明があります。
処置		手術後の感染予防の為に除毛します。(ただし、午後手術の場合は手術当日に行います。) 抗生剤のアレルギーテストを行います。	手術後、足が腫れたり、血行が悪くならないようにするため手術した膝は圧迫包帯が巻かれ、枕で高く挙げる・足関節の運動が必要となります。	
リハビリ				朝9時から10時頃リハビリ室にて、理学療法士からリハビリについて説明があります。
検査		入院前の検査(胸部レントゲン、心電図、採血)が済んでいない方は、ご案内します。		
薬物療法	点滴		感染予防の為に、手術6時間後に抗生剤(セファメジン)の点滴を行います。	朝8時に抗生剤の点滴を行います。
	内服薬 その他		術後医師の指示で、消炎・鎮痛の為に坐薬(インダシン)を使用することがあります。 手術後、食事が始まったら、消炎剤(ダーゼン)・鎮痛剤(ソレトン)・胃薬(セルベックス)の内服を開始します。	
説明		病棟内の案内をします。 入院後のスケジュールについて説明します。 看護師より自分で消毒する為の消毒セットをお渡しします。(当院外来通院患者様のみ)		病棟事務より退院会計・次回の予約の説明があります。 須川医院に通院の患者様は退院後須川医院へ受診してください。
指導		薬剤師が薬の説明にうかがいます。		
目標		1、身体的に問題がなく手術に臨むことが出来る。 2、退院後の生活の注意点が理解出来る。	3、不安や痛みを医療者に伝え、適切な診断・治療を受ける事ができる。	